



ブラウンハイム
自治会
昭和60年5月

廃品回収に
ご協力を
毎月
第1木曜
第3木曜

昭和六十年ブラウンハイム

自治会活動始まる

第八回定例総会が、四月七日(日)午前十時より並木第二小学校体育館において開催されました。

会長あいさつ

自治会会長 鈴木 守

自治会活動も今年で八年目を迎えることが出来ました。

会長挨拶につき、総会成立の確認・議長選出のうち、昭和五十九年度活動報告、会計報告、会計監査報告があり、満場一致をもって承認されました。

今年度は子供会、幹の会、連合自治会及び管理組合などとの連携を充実させていきたいと思ひます。

ひきつづき昭和六十年の新役員の紹介、承認があり、昭和六十年活動方針案および予算案が承認され総会は閉会いたしました。昭和六十年の自治会活動は四月七日開催された総会において承認され、その後、階段委員定例会、各部会により具体化しつつあります。

本号では自治会活動を推進するにあたりその所信の一端を紹介し会員の皆様のご理解、ご協力をいただきます。願ひいたします。

管理組合理事長

福永哲夫

みんなの共有財産を守るために、大小様々な修繕工事をしたり、お互いの住まい方のルールを決めてゆくの管理組合です。

管理組合はみんなが協同で運営していきますから、理事会の役員に誰もが一度はなつて頂き度いと思ひます。

管理組合の仕事はいろいろな方面にわたっており、少なからず専門的な知識も必要です、理事会の役員になると、思つてもみなかった問題にまきこまれ、大変な苦勞をすることもあります。

しかし、管理組合の運営の仕方によって、マンションは目に見えて違つてくると思われまふ。年月を経るに従つて歴然として来るようにです。管理組合が充実すれば、塗り替え工事により外壁がきれいになったり、

芝生や樹木も育ち、どこもなく落ちついた雰囲気が出て来ると思われまふ。その一方、管理組合があまり何もしない場合はスラム化の傾向が一段と早くなると思われまふ。

この様に、やるだけの成果が現われてくるのが管理組合だと考えまふ。また、様々な立場から、いろいろな意見を出し合つていけるのもマンションならではの事だと思ひまふ。

いろいろな世代がいろいろな立場から意見を出し合ひ、そこから合意を見つけて出していくのは決してやさしいことではないと思ひまふ。しかし、これは現代の最良の課題を背負つていくことでもあり、見方を変えればこんなにも楽しいことは他にはないと思ひまふ。

理事会の役員になつた人にとつて、管理組合の仕事は大変ですが、気持の上だけでも、日常のごく自然な仕事の一部分と考えることが出来ればと思ひまふ。

体育指導委員

森山 暢 寛

1. 住民に対して体育、スポーツについての理解と関心を高めるための啓蒙活動をはかる。

2. 住民の体育、スポーツ活動の促進のための組織の育成、指導をはかる。

3. 市、区、地区体育、スポーツ振興事業の企画に参画しその推進をはかる。

4. 各種体育、スポーツ団体その他関係団体の事業について協力する。

5. 後継指導者の育成発掘をはかる。

6. その他、住民の体育スポーツの普及振興のための必要な指導助言をおこなう。

幹の会

飯野 昇

自治会に招かれ会長代理で出席、鈴木会長、福永理事長、鈴木子供会々長、木村青少年指導員、伊勢管理入他各氏から熱意ある意見をうかがう。住居の安全や環境整備、青少年の健全な育成、非行防止、子供の交流と活動等、皆よい街づくりに取り組む意欲が会場に満ち、女性多数終始和やかな懇談の機会を得たことと

喜んで居ります。組合、自治会、そして幹の会、何れも未知の者で結成され現在に至り軌道に乗つております。これはひとえに役員、会員のご協力によるもの、今後更に住民一体となり、益々連帯感を深め、住みよい街づくりに前進したいものです。

私共幹の会は、やがて来る十年後、二十年後を展望して居り、素晴らしい会に成長するだろうと思ひまふ。秘かに夢を描きその夢を追いつつ後代へ引き継ぎたいと思ひまふ。会の維持運営は当然な責務と考え居る次第です。

防火防犯部

ドアに二重鍵をかけたたり子供達に「人を見たら泥棒と思え」などと教えなければならぬ時代にあつては地域の人が安全な生活をするためにはどのように対処してゆけばよいのでしようか。一つには、近隣の人とよく知り合うことが犯罪に対する大きな防衛手段になると思ひまふ。極力、声をかけ合い良い関係をつくつて行きましよう。又、社会情勢の変化にと

もない生活様式も多様化し、火災の原因も複雑化の傾向にあるようです。皆様には市からの広報や防災訓練等を通して防火に対する意識の向上もはかっていただきたいと思います。

防火防犯に関する情報や助言をお待ちしております。

(大友)

◇保健衛生部◇

今年度はじめて保健衛生部の仕事を一年間受けもつことになりました。

ブラウンハイムの保健環境衛生のために少しでも役に立つように一生懸命がんばっていきたいと思います。

今年度の保健衛生部としては、保健所とのパイプ役として、住民の保健衛生の向上のため例年どおり区の診断巡回バスなどによる居住者の健康管理、虫害対策として区衛生課による薬剤散布、保健ニュースの配布や救急薬品の補充等を中心に活動していく予定でありますので皆様のご協力を宜しくお願い致します。またこの他にも気づかれた事がありませんでしたらぜひご意見をお聞かせ下さい。

(平野)

◇青少年部◇

みなさん、青少年部は何をする部か。子供から青年

までの広い年齢層を対象とします。その広い年齢層の人達と何を、と考えるんですね。今年度は子供会のお母さん達と私達青少年部が一緒になって活動する事になりました。

今年の活動計画は子供会の行事を中心としたものになると思いますが参加出来るなあと考えた行事には進んで参加して下さい。又、中学、高校生の方達も参加出来るものを計画したいと思っておりますので知恵をおかし下さい。五月子供科学館、七、八月末ラジオ体操、キヤンプ、十月芋掘り、二月ドッチボール大会の予定です。

(阿部)

◇文化部◇

今年度の文化部は例年通り、文化の名にふさわしい活動と会員相互の親睦を考へ、皆様からの御意見と御要望をもとに、確実に実施して行きたいと思っております。

毎年好評の作品展や、手芸教室をベースに推進して行く考えであります。特に手芸教室につきましては一回限りに終わらず数回の講習会あるいは永続的な同好会として発展させて行ければと思っております。

昨年以上に皆様の御協力と御支援をお願いいたします。

(長沢)

新一年生

元気に大きくなあれ

「行って来ます。」
元氣よく玄関を出て行く
我が子の真新しいランドセル
を見送る、ほっと安どの一時です。そして次に、
「だいじょうぶかしら。」
「友だちと仲良くできるかしら。」
「先生のお話がちゃんと聞けるかしら。」
という不安な気持ちが入りまじって、親の心というのは、底がない程、複雑なものです。

今年の春は、昨年と比べると暖かく、春の花をバックに、新一年生の姿がともよく映え、まぶしくさえ感じられます。

お子さんの心同様、親御さんの心もまた、子どもの成長の喜びに大きくふくらんでいらつしやることと思っております。

学校に入ったんだから、まず勉強、成績、それ塾、と、いわゆる教科学習に頭を痛めている親御さんはいらつしやいませんか。昔から「よく学び、よく遊べ」という言葉があります。子どもたちが、豊かな人間性を備え、たくましく成長するためには、この「よく学び、よく遊ぶ」ことが、大変必要なのです。

特に低学年の子どもたちは、遊びの中で発見をしたり、下手なことをさほど気にもせずくり返したり、また失敗したことをやり直すことによって少しずつ小さな知恵を身につけていくのです。

また友だちと接することによって、ルールを生み出し、人と協調して行くことの大切さを覚えるのです。ですから子どもたちにとって、「遊ぶ」ということは欠くことのできない必要条件なのです。

ところが、ただ一口に「遊び」と言っても、最近では、コンピュータゲームやテレビなど、相手が人間でなく機械であったり、まん画であったりすることが多く体を流して遊ぶことが少なくなくなってきている様です。

道具がないと遊べないと言ったことが多々あります。その積み重ねによって、自主的に動くことをいやがったり、知恵を出し合ったり工夫するという人間どうしのふれ合いが少なくなつたというところが、懸念されるのです。



時間と場所、そして仲間という条件の中で、十分遊ぶことは、現代の社会ではむずかしいことかも知れませんが、でも、だからといって安易な物に転嫁してしまつて良いはずはありません。

コンピュータがいけない、テレビやまん画は見せない方がいいと言っているのではなく、子どもの大切な時間が、そのみに費されていけないかどうか、ということなのです。

子ども本来の欲求が十分満たされていれば情緒が安定し、知りたい、見たい、覚えたいなどの興味関心がおう盛になり、生きるということへの意欲が生まれてくると思われます。

朝ごはんをきちんと食べる、排便をきちんとし、始末をする。歯をみがき顔を洗う。ごく当たり前のことなんです。それができないといわれている現代の子どもたち。

この機会に親としての姿勢をふり返してみませんか？
今また親から自立の一步をふみ出した子どもたちの未来のために。

(佐野)

「ブラウンハイム在住者」

お誕生日
おめでとう



大久保裕子ちゃん
昭和六十年一月十三日生
二九七五グラム
へお母さんから一言へ
昨年息子の小学校入学で一段落したのもつかの間、長女の中学入学、三女の誕生と、また一からやり直します。産後、裕子と一緒にブクブク太っております。

編集後記

本年度は「赤れんが」を年四回発行する予定でいます。自治会行事のPRや活動報告は勿論のこと、自治会会員皆様の身近な情報を取りあげて行きたいと思っております。お気付の事や、ご意見、ご希望がございましたら「投書箱」広報部員宅または階段委員の所までご意見をお寄せ下さい。お待ちいたしております。

本号では新しく一年生になられた子供達をお持ちのご両親の参考になればと、佐野様に原稿をお願いいたしました。